

## 目 次

### 論文（一般投稿）

伊川 健二

国性爺合戦にみる異国観…………… 1

石丸 純一

『懐風藻』道慈伝が描く道慈像…………… (1) 430

馬 越 洋 平

亡き子を探すオルフェウス——「純粋な爪が高々と縞瑪瑙を捧げ」に見る死別の苦悩…………… 11

大木 エリカ

新聞小説批評としての谷崎潤一郎「少将滋幹の母」——占領期における文壇への眼差し——…………… (13) 418

岡田 俊之輔

絶対者を戴く文化、戴かぬ文化——諭吉、カーライル、獨歩、他…………… (25) 406

尾 崎 賛 美

フィヒテの自己定立論とカントの自己意識論…………… 21

小 原 淳

北陸地方に存するドイツ関連史跡の総合的検討…………… 33

久 保 隆 司

山崎闇斎の神道神学思想と江戸前期の朝幕関係の解釈について  
——分掌・天上論、大政委任論、天海（山王）論の観点から——…………… (37) 394

小 泉 咲

「物語」に介在する薫——『源氏物語』「橋姫」から「宿木」巻へ——…………… (49) 382

後 藤 渡

Une lecture de *L'Éternité* de Georges Perec…………… 51

小 林 昌 平

「接合体」から「螺旋体」へ——ハイデガーにおける「存在史的思索」の深化…………… 65

繁 田 歩

存在の概念をめぐるカントとクルージュスの対決…………… 77

謝 敏

疫情背景下戏剧传播模式新思考——以英国 NT Live 的“数字化”制作和推广为例…………… 91

陣 野 英 則

時空を超える『源氏物語』——文学上の理念・理論との相互作用——…………… (61) 370

高 橋 憲 子

『古事記』の中のオノマトペ——「塩こをろこをろ」の解釈と英訳…………… 99

武田一文	
聖堂装飾における十二使徒の選択に関する一考察——典拠と神学的重要性の相克に着目して——	109
田辺俊介	
沖縄における「ナショナル」・アイデンティティ——その担い手と政治意識との関連の実証分析	123
寺嶋雅彦	
「総合哲学体系」の哲学的基礎——スペンサー『第一原理』に基づいて——	137
徳泉さち	
平斉民が北魏書法に与えた影響	(73) 358
長尾天	
神宿るイリュージョンと神無きイリュージョン ——クレメント・グリーンバーグとシュルレアリスムをめぐる一視座	149
長澤法幸	
サッフォーを悼むルネ・ヴィヴィアン——二つの「祈り」の分析——	159
中村優花	
『新新文詩』における森槐南の創作の精神	(87) 344
福田淑子	
カルロ・クリヴェッリ作《無原罪の宿り》——一对の天使をめぐる予型論的解釈試論——	169
古屋詩織	
マッソンとミロのオートマティスム——1920年代シュルレアリスムにおける画家の実践——	181
益田朋幸	
スタロ・ナゴリチャネの聖母伝——ミハイルとエウティキオスの装飾プログラム	195
山崎皓平	
東方研究の成立と展開——1900-1990年代における主要人物、組織、理念——	209
山本佳生	
発想の「場所」から引用の集成へ——トボス、ロキ・コムネス、詞華集——	221
湯浅翔馬	
Le mouvement des jeunes bonapartistes et l'Action française avant la Première Guerre mondiale (1909-1914)	233
渡邊義浩	
『史記』三家注の特徴について	(101) 330
研究ノート・報告・翻訳（一般投稿）	
銭雨辰	
Another Evangelism: Missionary Visuality as Transcultural Conversations in China and Japan, from Pre-modern to Modern Periods	247

張 龍 龍

Youth Mainlander Soldiers of the Great Retreat and Their Interrupted Lives under  
the Authoritarian Regime of Taiwan in the 1950s ..... 265

## 特集1 RILAS 研究部門「トランスナショナル社会と日本文化」

主催研究会「近代北方史の動態を探る—北海道開拓と民衆経験—」、  
シンポジウム「日琉関係史の軌跡と展望—紙屋敦之氏の研究を中心に—」

伊川 健二

主催研究会「近代北方史の動態を探る—北海道開拓と民衆経験—」、  
シンポジウム「日琉関係史の軌跡と展望—紙屋敦之氏の研究を中心に—」 ..... 275

田辺 陽子

明治期におけるキリスト教伝道とアイヌ民族——函館アイヌ学校を事例に—— ..... 276

武藤三代平

明治青年による移植民事業と労資関係の形成——北海道開拓および海外植民の経験から—— ..... 280

深谷 克己

紙屋敦之氏の人と業績 ..... 283

矢野美沙子

東アジアにおける琉球王国の位置づけ ..... 285

深瀬公一郎

薩摩藩の琉球政策と「異国」「領内」——島津重豪期における琉球の使節派遣を中心に—— ..... 288

ティネッコ・マルコ

国際的な視点からみた「琉球処分」——東アジアの視点を超えて ..... 291

## 特集2 RILAS 研究部門「現代社会における危機の解明と共生社会創出に向けた研究」

主催 早稲田大学総合人文科学研究センター 2020 年度年次フォーラム

浦野 正樹・浅野 幸子

東日本大震災 10 年の軌跡と大規模災害からの復興をめぐって——新たな「日常」への模索—— ..... 295

川副早央里・松村 治・浦野 正樹・長田 攻一

富岡町と浪江町の 10 年目——第 7 回シニア社会学会シンポジウムの議論から—— ..... 307

## 彙報

総合人文科学研究センター 活動報告 (2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日) ..... 315

## 編集後記

## 奥付